

# 第 33 回北九州大腿骨近位部骨折地域連携パス協議会議事録

日時：2022 年 1 月 27 日（木） 18:30～18:40

場所：ZOOM 開催

出席した登録医療機関（別紙参照）

司会：JCHO 九州病院 整形外科 診療部長 土屋 邦喜 先生

## 報告事項（事務局 村上より）

### 1. 大腿骨近位部骨折地域連携パス北九州標準モデルの利用状況

令和 3 年 12 月 28 日までに事務局へ送信され受理した連携シートについて報告した。急性期医療機関は 156 件/3.5 ヶ月、回復期等連携医療機関は 243 件/3.5 ヶ月であり、運用開始から急性期医療機関、回復期等連携医療機関の両施設より受理した患者数は 3817 名、合計 7644 名の利用となった。

#### ・集計結果（全受理データ）

急性期医療機関、回復期等連携医療機関ごとの事務局の受理件数、事務局への未送信件数を示し、未送信分に関しては送信していただくよう呼びかけた。加えて全受理データを用いて、年代別利用状況、骨折型別発症割合について報告した（ホームページ上の集計結果を参照）。

### 2. 回復期退院時歩行再獲得に影響する因子

・前回大腿骨近位部骨折地域連携パス協議会で報告したアメリカ理学療法士協会が報告した大腿骨近位部骨折のガイドラインで報告した項目（移動・移動動作能力の指標）を参考に、回復期病院退院時の歩行再獲得の可否に影響する因子の検討をした。

・対象は 7644 件の大腿骨近位部骨折地域連携パスから解析対象として 639 件とした。評価項目としては、年齢、手術待機日数、受傷前 Barthel Index (BI)、受傷前の所在、急性期退院時 CAS 改訂版、急性期退院時 BI、長谷川式簡易知能評価スケール (HDS-R) とした。また歩行再獲得の可否は、歩行補助具の有無によらず介助下でも実施しているものを可能とした。

・歩行再獲得率は 75.7%であった。また歩行可否に与える因子は、受傷前所在地、急性期退院時 BI、HDS-R であり、判別的中率 80.2%であった。

### 3. その他

- ・新規登録医療機関の紹介として、入院連携医療機関に九州鉄道記念病院が登録されたことを報告した。
- ・今回北九州大腿骨近位部骨折地域連携パス協議会に関する参加証の発行について案内した。
- ・異動等で委員が不在の病院は、委員変更届を提出するようお願いした。
- ・当該病院のアルファベットに関しては、事務局まで問い合わせをお願いした。

## ご意見やご要望の連絡先

北九州市八幡西区医生ヶ丘 1-1 産業医科大学リハビリテーション医学講座

担当職員：杉保聖子、担当医：伊藤英明

Fax 093-691-3529

E-mail: reha@mbbox.med.uoeh-u.ac.jp

文責 村上 武史、伊藤 英明

北九州大腿骨近位部骨折地域連携パス協議会事務局幹事

産業医科大学リハビリテーション医学講座 Tel 093-691-7266

2022年1月27日開催 第33回北九州大腿骨近位部骨折地域連携パス協議会

委員登録届出 参加医療機関

北九州総合病院  
小倉記念病院  
戸畑共立病院  
福岡新水巻病院  
小倉きふね病院  
戸畑けんわ病院  
芦屋中央病院  
西野病院  
北九州中央病院  
慈恵曽根病院

正和中央病院  
製鉄記念八幡病院  
新小倉病院  
産業医科大学病院  
小倉リハビリテーション病院  
北九州安部山公園病院  
新生会病院  
遠賀中間医師会おかがき病院  
香椎丘リハビリテーション病院

九州労災病院  
JCHO九州病院  
新小文字病院  
正和なみき病院  
芳野病院  
くらて病院  
新中間病院  
新王子病院